学校番号	3016

令和３年度　理数科

教科	理数科	科目	理数数学特論(文科)	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	三訂版　クリアー数学演習Ⅰ・II・A・B　受験編(数研出版)						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、試行錯誤しながら問題解決に挑みます。
・「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で、答えを導きそのなかでは自分の考えを発表したり、議論したりする活動を行うこともあります。
・問題集用のノートを用意して下さい。問題集の問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。

２　学習の到達目標

入試問題を解くための基礎的な知識や技能を習得します。また、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにします。さらに、それらを活用する態度を身に付けることを目標とします。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	理数数学ⅠⅡで学んだ単元の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらの事象への考察に活用しようとする。	事象を数学的に考察したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、理数数学ⅠⅡで学んだ単元における数学的な見方や考え方を身に付けている。	理数数学ⅠⅡで学んだ単元において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	理数数学ⅠⅡで学んだ単元における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。
評価方法	確認テスト ワークシート レポート 観察等	確認テスト ワークシート レポート 観察等	確認テスト ワークシート レポート 観察等	確認テスト ワークシート レポート 観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	入試問題演習	数と式 関数と方程式・不等式 式と証明 論理 個数の処理 確率 平面図形 図形と式 三角・指数・対数関数 微分法・積分法 ベクトル 数列	○	○	○	○	a:入試問題に関心をもち，既習の単元の性質を考察しようとしている。 b:入試問題演習を通して，数学的な見方や考え方を身につけている。 c:既習の単元の内容を用いて表現・処理する仕方などの技能を身につけている。 d:　既習の単元の基本的な性質を理解し，知識を身につけている。	確認テスト ワークシート レポート 観察等
後期	入試問題演習	理数数学ⅠⅡ全般 センター対策	○	○	○	○	a:入試問題に関心をもち，既習の単元の性質を考察しようとしている。 b:入試問題演習を通して，数学的な見方や考え方を身につけている。 c:既習の単元の内容を用いて表現・処理する仕方などの技能を身につけている。 d:　既習の単元の基本的な性質を理解し，知識を身につけている。	確認テスト ワークシート レポート 観察等

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：技能　　d：知識・理解

※　原則として一つの単元（教材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。